



▲中央公民館での人権教育研究大会

リオのオリンピックで日本選手の活躍に一喜一憂した今年の夏、播磨町内でもいろいろな夏のイベント、行事、大会などが開催されました。暑い、暑いこの時期にご尽力、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

◆8月7日「共に生きよう ふれあいのまち映画会」を開催しました。映画は「ベイマックス」。癒しのケアロボット「ベイマックス」と幼い頃両親を亡くした主人公「ヒロ」との勇気ある闘いと心温まるふれあいを描いたストーリーでした。アニメではありませんが大人も子どもも楽しめる映画でした。会場は夏休みということもあって、親子連れの姿も多く見られました。同時開催の「ふれあい展示コーナー」「体験コーナー」「ふれあい喫茶コーナー」なども好評でした。ご来場ありがとうございました。

◆7月23日「サマーフェスティバル」が浜田球場周辺で開催されました。ステージ上のダンスや歌、広場での総踊り、周囲を囲んだ夜店とともに、多くの人々にぎわいました。最後の抽選会では「自転車」や「ふれあいの家の利用券」など賞品の行方に大盛り上がりでした。「スポーツクラブ21はりま」の皆さま、大変暑い中お世話さまでした。

◆7月30日兵庫県人権教育研究大会東播磨大会が播磨町で開催され、県下各地より多くの方々来町されました。会場も6会場に分かれ、インターネットでも全体会の様子が配信されました。全体会での講演は清水展人さんが「自分らしく生きる～性別違和を乗り越えて」というテーマで話されました。ご自身の経験も踏まえて熱心にお話された内容は、改めて「性同一性障がい」ということに対する正しい知識を持ち理解を深める機会となりました。ご活躍をお祈りしています。

播磨町長 清水ひろ子

サマーフェスティバル2016が盛大に行われました

スポーツクラブ21はりま ☎079 (437) 2201

▶人気のボルダリング



7月23日、天候にも恵まれ、「2016播磨町サマーフェスティバル」が開催されました。4,000人以上の来場者があり、午後3時の開始時刻から、元気な子どもたちが自由広場に設けられた縁日コーナーやボルダリング体験などを楽しむ姿が見られました。浜田球場では、模擬店に行列ができたほか、アーティストやパフォーマーのステージイベント、毎年恒例の総踊りにも多くの方が参加し、大にぎわいのサマーフェスティバルとなりました。



▲播磨音頭で一踊り

夏休み子どもチャレンジ教室を実施

スポーツクラブ21はりま ☎079 (437) 2201

7月26日と27日の2日間にわたり、播磨町と朝来市の小学生が交流し色々な体験をする、夏休み子どもチャレンジ教室が実施されました。



▲魚の感触にドキドキ

1日目には、明石市立天文科学館を見学し、プラネタリウムで夏の星座の鑑賞などをしました。

2日目の朝来市では、アマゴのつかみ取りをして塩焼きにして食べたり、ジップスライドで森の中を滑り降りていく、ハラハラドキドキの体験をして楽しんだりしました。

新しい友達もでき、忘れられない2日間となりました。

楽屋裏

平成26年1月に発行した「はりま暮らしの便利帳2014」の改訂版を準備中です。これは官民共同事業で町と(株)サイネックスが協定を結んで発行した行政情報満載の情報紙です。行政情報は、町ホームページにも掲載していますが、一冊の冊子にまとめた保存版をご家庭に備えていただきたく、「はりま暮らしの便利帳2017」を発行することにしました。経費はすべて(株)サイネックスが担当する広告代で賄われます。配布は来年4月の予定です。(宮)

播磨町子ども防災体験キャンプ

生涯学習グループ ☎079 (435) 0565

7月21日と22日の2日間にわたり、播磨町子ども防災体験キャンプが開催されました。

避難所生活を想像しながら中央公民館でビニールシートを敷いて寝泊りしたり、アルファ化米と豚汁の非常食で夕食をとるなど、快適な自宅を離れて貴重な体験をしました。

今年は冒頭に特別プログラムとして、シンガーソングライターの石田裕之さんをお迎えして「防災、命について考える講演会」を開催しました。被災地での支援活動で体験された被災地の現状、命の大切さ、思いやりの大切さを歌と言葉と映像で伝えていただき、メモをとりながら真剣な表情で聞く子どもたちの姿が印象的でした。

▲石巻市の写真を見ながらのお話

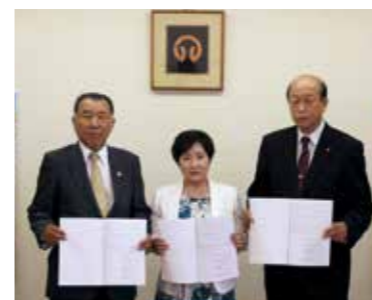
また、すこやか環境グループの保健師による応急手当講習や、加古川市防災センターでの煙避難体験や地震体験をし、最後にはレスキュー隊の緊張感溢れる訓練風景を間近で見せてもらうなど、子どもたちにとって防災、命について考える2日間になりました。



▲ブルーシートで眠る体験 ▲レスキュー隊の訓練を見学

「災害時における支援協力に関する協定」を締結しました

住民グループ ☎079 (435) 2363



▲協定書を手にする大竹社長、清水町長、古谷町長

平成28年7月12日、播磨町、稲美町と両町で組織する加古郡衛生事務組合は、葬儀場「JAやすらぎ会館」を運営する「株式会社加古川産業会館」の大竹雅彦社長と「災害時における支援協力に関する協定」を締結、同日、播磨町役場にて調印式が執り行われました。

この協定により、大規模災害発生時、両町内で多数の犠牲者が発生した場合に、ひつぎや葬祭用品、遺体安置施設などの提供を受けることができるようになりました。

スナッグゴルフ全国大会出場

企画グループ ☎079 (435) 0356

第14回スナッグゴルフ対抗戦JGT Oカップ全国大会が、7月17日に福島県で開催されました。スポーツクラブ21はりまで練習を重ね、このたび出場が決まった播磨南小学校の児童6人が、大会前に町長を表敬訪問しました。選手の皆さんは「日頃の練習の成果を発揮し、ベスト記録を出せるように頑張りたい」と、力強く抱負を語ってくれました。また、日頃の練習活動や将来の夢も話し、町長は「暑い時期なので体調に気を付けて、日頃の練習成果を思う存分発揮してください」と、全員と握手を交わして激励しました。



▲後方左から、鳥本皓也君(5年生)、吉見正樹君(6年生)、横田遥希君(6年生)、堀空悟君(6年生)。前方左から、徳田春香さん(6年生)、山崎友希さん(5年生)
※全国大会の結果5位に入賞する大健闘でした。

わんぱくはりまっこ



すみや そうた
角谷 颯太くん
(古宮)
幸せありがとうございます!!
(母より)

※撮影時の年齢です。